

兵隊 情

1. 地上軍

重慶軍總兵力約二九六師二九〇萬にして其中可動兵力約九ヶ軍二五萬は主として貴州、湖南方面に集中しありて緬甸反攻との關係注視の要あり

右の外主として北支方面に共產軍正規兵約二四五團二三萬民衆約六〇萬あり

2. 空軍

在支米空軍は既に約一三〇機を算するに至り主として西南支航空基地を利用して其の活動逐次積極化し一方輿地中北支航空基地を利用して重慶空軍約二〇〇機を指導し逐次聯合空軍化しつつあり

3. 潜水艦基地

南東支那沿岸に米軍潜水艦基地設定せられありとの情報あるも未だ信を證し難し

4 外蒙兵力

外蒙には機械化二ヶ師團を基幹とする蘇軍第十七軍及蘇空軍三ヶ聯隊並に外蒙軍約三萬を有す

5 繼續意識

昭和十七年末採用せし我が對支新政策の重慶側に對する影響は絶無にはあらざるも世界情勢及太平洋戦局の樞軸國側に不利なること並に食糧及輕兵器の自給可能なる現況等よりするも重慶側の對日繼續意識は牢固たるものあり

三 汪政權の狀況

1 對支新政策

昭和十七年末汪政權の自發的活動促進を第一義とし軍は従來の態度を改め占據地域の確保安定、集結訓練に専念し單に右政權の後援支撥たるの新政策を採用せられ昭和十八年七月末を目途として之が結實を圖りたるも汪政權の弱体及大東亞省出先機關の能力等

對支新政策

派遣軍の任務

大陸令七五七キ

よりして新政策の實現容易ならざる状況にあり

2 武力

汪政權に屬する軍隊は約三〇萬にして其の他保安隊警察隊等を合すれば約九〇萬に及ぶ武力を有しありと雖も之等の戰意及能力は極めて低劣なるのみならず汪政權官吏と共に貪汚を恣にしありて和平地區に於ける治安不良の最大原因を形成しあるが如し

四 派遣軍の任務

1 對支新政策の採用と共に昭和十八年二月末支那派遣軍に與へられたる大陸命令第七百五十七號の要旨左の如し

支那派遣軍總司令官は概ね現占據地域を確保安定し且爲し得る限り對敵壓迫を繼續し敵の繼戰企圖の破挫衰亡に任ずると共に在支敵空軍の活動を封殺すべし

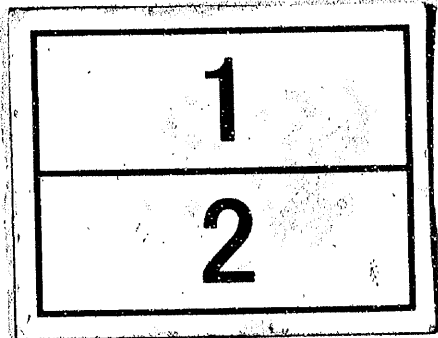
2 從來後方及政務に關しては北支及南支は中央よりも直接區廳を受けありしも新政策の採用と共に之を廢止し派遣軍をして北支及南支

に對しても完全統率せしむることに改めらる

一〇

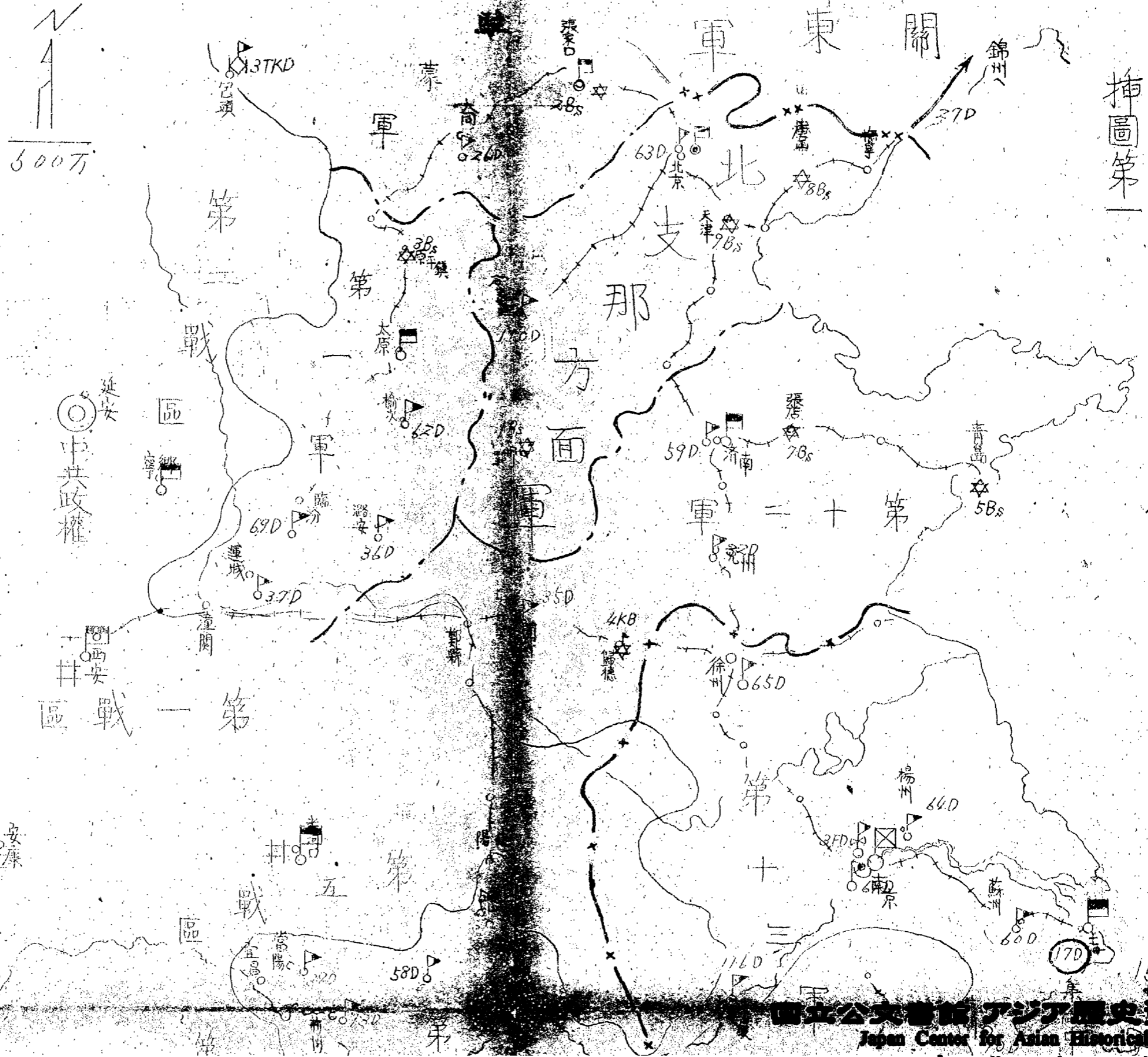
0795

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版以上のため
文書等名	支那派遣軍態勢概見図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

支那派遣軍態勢概見圖

(於昭和十八年八月初頭)



挿圖第一

十八年八月初頭の
支那派遣軍の態勢

